

## 平成29年度事業報告

### (1) 埋蔵文化財発掘調査事業

平成29年度の発掘調査事業は51ヶ所59遺跡について実施し、内訳はハッ場ダムが18ヶ所18遺跡、前橋笠懸道路1ヶ所1遺跡、公共開発関連は32ヶ所40遺跡であった。

ハッ場ダム調査事務所管内では、水没地内を3工区に分割し共同企業体（JV）による発掘調査を実施した。1工区（長野原・横壁・林地区）では、前年度から継続した中棚Ⅱ遺跡（1）・下田遺跡（4）の他、西久保Ⅰ遺跡（2）と下原遺跡（6）などの調査を実施した。下原遺跡では天明泥流下から水田や畑、道などを検出した他、縄文時代の柄鏡形竪穴建物が確認された。2工区（川原湯地区）では、石川原遺跡（9）の調査を広範囲に実施し、天明泥流下から江戸時代の屋敷や畑を調査した他、平安時代の竪穴建物や縄文時代後期の配石遺構および多量の土器片や土偶や玉類などが出土した。3工区（川原畑、川原湯地区）では、西宮遺跡（10）・東宮遺跡（11）・石畑遺跡（17）などの調査を実施した他、石畑Ⅰ岩陰（16）の調査にも着手した。西宮遺跡では、天明泥流下から畑や屋敷の一部を検出し、東宮遺跡では縄文時代後期の弧状列石3列と竪穴建物や配石遺構を調査した。石畑Ⅰ岩陰の調査は、吾妻川寄りの部分と岩陰本体部分の調査を行い、遺物包含層と厚い灰層などを確認した。石川原遺跡・西宮遺跡・石畑Ⅰ岩陰・下田遺跡・中棚Ⅱ遺跡・西ノ上遺跡（12）・三平Ⅰ遺跡（14）などでは一部冬期の調査を実施した。

国土交通省関連事業では、前橋笠懸道路（国道50号バイパス）で柳田遺跡（19）から古墳時代の集落が確認されている。

県土整備部関連事業では、上信自動車道吾妻西バイパスの唐堀遺跡（38）で、前年度から継続して水場遺構の排水路や配石遺構などが調査され、土器類と共に、土偶・土製耳飾などの土製品類も多く出土している。万木沢B遺跡（36）では唐堀遺跡と同時期の縄文時代晩期の遺物が多数出土している。祖母島箱島バイパス関連では、宮貝戸遺跡（42）で古代集落が発見されている。国道353号金井バイパス（上信自動車道）関連では、金井下新田遺跡（23）1区・6区の調査が実施され、囲い状遺構や6世紀初頭の榛名山噴火による火砕流に被災した古墳人や馬の発見があった。西毛広域幹道路関連では、高崎工区で下芝内手畑遺跡・和田山古墳群（25）が調査され古代の竪穴建物や水田が確認された。高崎西工区では本郷満行原遺跡（27）で寺院の建物が3か所で確認され、本郷上ノ台遺跡（27）では古代集落、本郷鶴楽遺跡（27）では古代集落と本郷奥原65号墳の調査を行った。本郷広神遺跡・本郷西谷津遺跡（28）では浅間B軽石直下の水田が調査された。本郷地区は古墳群・寺院・集落および水田などが狭い地域に集中して展開する注目される遺跡群となっている。鳴上遺跡・鶴窪遺跡・大カサ遺跡（29）でも古代集落が発見されている。高崎安中工区では沼田遺跡（34）で近世の洪水土砂および浅間A軽石を埋設した復旧坑が確認された。

その他の県公共関連事業では、前橋市0946遺跡（20）で浅間B軽石直下の水田などを調査した。前橋市0093・前橋市0102遺跡（21）では中世の用水遺構である女堀の調査を行った。前橋市0891遺跡（22）では古代集落が発見されている。木部下久保田遺跡・山名赤沼遺跡（30）では中世の掘立柱建物や浅間A軽石を埋設した復旧坑などが調査されている。向原Ⅳ遺跡（33）では、旧石器時代の剥片類が200点程出土している。T007遺跡（32）では、方墳をはじめ10基の古墳が調査された。なお、同遺跡は平成30年度も調査が実施される予定である。下湊名遺跡（24）では古代の土坑などが調査された。前畑Ⅰ遺跡（46）では縄文時代前期・中期の集落が調査された。桐生新町水路跡（45）の調査では、近世～近代の石組みの水路跡が確認されている。下田島遺跡（44）では縄文時代の遺物包含層が調査され、新屋敷前遺跡（43）では古代の溝状遺構、藤岡市22包蔵地（31）・陣谷遺跡（47）では古代集落がそれぞれ調査されている。

コンベンション施設整備関連では高崎競馬場遺跡・岩押町遺跡4・上中居荒神遺跡5（48）が調査され、弥生時代中期の環濠や浅間B軽石直下の水田が発見されている。

県教育委員会管理課関係では七日市陣屋遺跡・七日市古墳群（49）、小原遺跡（50）・前橋市0934遺跡（51）などの調査を実施した。

唐堀遺跡において重機転倒によるオペレーターの死亡事故が発生したため、理事長を委員長とする「重機事故防止対策等検討委員会」を設置し、原因の究明と「重機使用時の作業手順」チェックリスト作成等の事故防止対策を検討し、速やかに実施に移した。（安全確保巡回監視員は平成30年度に設置）

ア 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査

(単位:千円)

区分	遺跡名	所在地	面積 m <sup>2</sup>	受託費	委託者
ハッ 場 ダ ム	1 中棚Ⅱ遺跡	長野原町林	21,270	1,357,910	国 土 交 通 省
	2 西久保Ⅰ遺跡	長野原町横壁	2,254		
	3 中棚Ⅰ遺跡	長野原町林	8,176		
	4 下田遺跡	長野原町林	5,372		
	5 尾坂遺跡	長野原町長野原	8,376		
	6 下原遺跡	長野原町林	4,921		
	7 西久保Ⅴ遺跡	長野原町横壁	4,096		
	8 前原遺跡	長野原町川原湯	1,296		
	9 石川原遺跡	長野原町川原湯	25,125		
	10 西宮遺跡	長野原町川原畑	18,062		
	11 東宮遺跡	長野原町川原畑	8,190		
	12 西ノ上遺跡	長野原町川原湯	13,372		
	13 二社平遺跡	長野原町川原畑	4,716		
	14 三平Ⅰ遺跡	長野原町川原畑	0		
	15 川原畑の宝篋印塔	長野原町川原畑	1,493		
	16 石畑Ⅰ岩陰	長野原町川原畑	886		
	17 石畑遺跡	長野原町川原畑	1,691		
	18 下湯原遺跡	長野原町川原湯	3,051		
	小 計		132,347	1,357,910	
前 橋 笠 懸	19 柳田遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	2,840	50,602	
	小 計		2,840	50,602	
	国土交通省計		135,187	1,408,512	
	幹線交通関連計		135,187	1,408,512	

イ 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査

(単位:千円)

区分	遺跡名	所在地	面積 m <sup>2</sup>	受託費	委託者
県 等 公 共 開 発 関 連	20 前橋市0946遺跡	前橋市朝倉町	13,647	153,303	県 土 整 備 部
	21 前橋市0093遺跡・前橋市0102遺跡	前橋市堀之下町	2,852	38,998	
	22 前橋市0891遺跡	前橋市粕川町	626	11,205	
	23 金井下新田遺跡・金井東裏遺跡	渋川市金井	4,108	128,088	
	24 下湊名遺跡	伊勢崎市境下湊名	196	4,470	
	25 下芝内手畑・和田山古墳群	高崎市箕郷町下芝	3,317	23,130	
	26 下芝内手畑遺跡	高崎市箕郷町下芝	1,275	20,250	
	27 本郷満行原・本郷上ノ台・本郷鶴楽遺跡	高崎市本郷町	16,376	147,750	
	28 本郷広神・本郷西谷津遺跡	高崎市本郷町			
	29 鴟上・鶴窪・大力サ遺跡	高崎市本郷町			
30 木部下久保田遺跡・山名赤沼遺跡	高崎市山名町	8,763	63,446		

県 等 公 共 開 発 関 連	31	藤岡市22包蔵地	藤岡市中栗須	540	13,680	県 土 整 備 部	
	32	T007遺跡	富岡市後賀	2,170	26,833		
	33	向原IV遺跡	安中市中野谷	1,864	23,081		
	34	沼田遺跡	安中市下秋間	3,411	24,765		
	35	新井遺跡	東吾妻町厚田	0	304,341		
	36	万木沢B遺跡	東吾妻町三島	8,615			
	37	根小屋城跡	東吾妻町三島	0			
	38	唐堀遺跡	東吾妻町三島	4,358			
	39	四戸の古墳群	東吾妻町三島	0			
	40	四戸遺跡	東吾妻町三島	0			
	41	唐堀C遺跡	東吾妻町三島	0			
	42	宮貝戸遺跡	東吾妻町箱島	3,740	22,529		
	43	新屋敷前遺跡	太田市新田大根町	690	8,777		
	44	下田島遺跡	太田市下田島町	1,530	16,055		
	45	桐生新町水路跡	桐生市本町	36	10,659		
	46	前畑J遺跡	桐生市新里町野	2,482	40,215		
	47	陣谷遺跡	館林市楠町	1,700	21,919		
		小計		82,296	1,103,494		
	48	高崎競馬場遺跡他	高崎市岩押町	37,240	356,512		企画部
		小計		37,240	356,512		
	49	七日市陣屋跡・七日市古墳群	富岡市七日市	1,858	20,365		(教)管理課
	50	小原遺跡	中之条町中之条	778	6,111		
	51	前橋市0934遺跡	前橋市上佐鳥町	426	4,917		
	小計		3,062	31,393			
	公共開発関連計		122,598	1,491,399			
	発掘調査事業費合計		257,785	2,899,911			

## (2) 埋蔵文化財発掘調査整理事業

平成29年度の整理事業は22遺跡について実施し、内訳は八ッ場ダム関連9遺跡、公共開発関連13遺跡である。このうち八ッ場ダム関連8冊、公共開発関連6冊の計14冊の報告書を刊行した。

八ッ場ダム関連では『林中原Ⅱ遺跡(2)』、『上ノ平Ⅰ遺跡(3)』、『尾坂遺跡(3)』、『川原湯中原Ⅲ遺跡』、『石川原遺跡(1)』、『西宮遺跡(1)・西宮岩陰』、『東宮遺跡(4)』、『下湯原遺跡(1)』の8冊を刊行した。林中原Ⅱ遺跡では縄文時代中期から後期の大集落が発見されており、第1冊目と合わせて縄文時代集落景観の復元に良好な資料を提供した。石川原遺跡では、天明泥流下の屋敷や畑、道などのほか中世以前の建物や縄文時代の遺構も多数調査されているが、第1冊目では中近世の遺構・遺物を主体に報告した。

公共関連では吉井北通り線の『塩川砂井戸遺跡(2)・池石田遺跡』、国道354号板倉北川辺バイパスの『五箇川入堤外遺跡・小合地西遺跡』、石田川上流工区の『新屋敷遺跡』、高崎渋川バイパスの『有馬西田遺跡』、上信道金井バイパスの金井東裏遺跡(近世・弥生・縄文時代編)、上信道吾妻西バイパス『唐堀B遺跡』の6冊を刊行した。

吉井北通り線の塩川砂井戸遺跡では報告書が刊行され、古墳時代後期から平安時代の集落が報告されたが、その中では8世紀初頭に集落が一カ所に集中する状態が把握され、多胡郡建郡に関連した変化としてとらえられている。

上信道金井バイパス関連では、金井東裏遺跡で縄文時代から弥生時代と近世についての報告書が刊行された。縄文時代は前期から後期、弥生時代は中期前葉から後期中葉にかけての集落である。調査範囲が限定されているとは言え、この地域の集落解明に大きな成果をもたらしている。また、弥生時代の遺物には人形土器が出土し、その出土状況から祭儀礼行為にもちいられたと考えられている。古墳時代の報告書についても平成30年度下半期に刊行が予定されている。金井下新田遺跡では、遺構図の編集、土器の接合・復元、実測や石器の実測作業が順次進められている。

上信道吾妻西バイパス関連では、唐堀B遺跡の報告書が刊行され弥生時代後期の集落や近世の生産遺構の成果が報告されたが、弥生時代の集落は周囲の四戸遺跡や新井遺跡などにも広がっており、今後、この地域の弥生時代の集落解明が進むと思われる。また、唐堀遺跡、厚田中村遺跡などの整理作業が進められ、唐堀遺跡では遺構図の編集や大量に出土した土器や石器の接合・復元、実測などの作業が進められた。

コンベンション関連の高崎競馬場遺跡では、前年度に引き続き弥生時代の遺構図編集や弥生土器の接合・復元、石器の分類・実測を中心に整理が進められた。遺物の整理では木製の白や人面付きの土器など注目される遺物が存在しており、報告書における成果が期待される。

ア 幹線交通関連埋蔵文化財調査整理

(単位:千円)

区分	遺跡名	所在地	報告書名	受託費	委託者	
八ッ場ダム	1	林中原Ⅱ遺跡	長野原町林	第643集 林中原Ⅱ遺跡(2)	160,056	国土交通省
	2	上ノ平Ⅰ遺跡	長野原町川原畑	第637集 上ノ平Ⅰ遺跡(3)		
	3	尾坂遺跡	長野原町長野原	第638集 尾坂遺跡(3)		
	4	川原湯中原Ⅲ遺跡	長野原町川原湯	第639集 川原湯中原Ⅲ遺跡		
	5	下田遺跡	長野原町林			
	6	石川原遺跡	長野原町川原湯	第640集 石川原遺跡(1)		
	7	西宮遺跡	長野原町川原畑	第634集 西宮遺跡(1)・西宮岩陰		
	8	東宮遺跡	長野原町川原畑	第633集 東宮遺跡(4)		
	9	下湯原遺跡	長野原町川原湯	第641集 下湯原遺跡(1)		
	小計		8冊	160,056		
	幹線交通関連計		8冊	160,056		

イ 公共開発関連埋蔵文化財調査整理

(単位:千円)

区分	遺跡名	所在地	報告書名	受託費	委託者	
県公共開発関連	10	塩川砂井戸遺跡	高崎市吉井町	第635集 塩川砂井戸遺跡(2)・池石田遺跡	29,014	国土整備部
	11	五箇川入堤外遺跡・小合地西遺跡	板倉町下五箇	第631集 五箇川入堤外遺跡・小合地西遺跡	3,560	
	12	新屋敷前遺跡	太田市新田大根町	第642集 新屋敷前遺跡	3,723	
	13	金井東裏遺跡	渋川市金井	第636集 金井東裏遺跡 (近世・弥生・縄文時代編)	71,723	
	14	金井下新田遺跡	渋川市金井			
	15	有馬西田遺跡	渋川市有馬	第632集 有馬西田遺跡	517	
	16	根小屋城跡	東吾妻町三島		80,774	
	17	細谷E遺跡	東吾妻町三島			
	18	四戸遺跡	東吾妻町三島			
	19	唐堀遺跡	東吾妻町三島			
	20	唐堀B遺跡	東吾妻町三島	第630集 唐堀B遺跡		
21	厚田中村遺跡	東吾妻町厚田				
	小計		6冊	189,311		
	22	高崎競馬場遺跡	高崎市岩押町		23,770	企画部
	小計		0冊	23,770		
	公共開発関連計		6冊	213,081		
	整理事業費合計		14冊	373,137		

### (3) 普及啓発事業

平成29年度は、県の委託事業として発掘情報館最新情報展や埋蔵文化財専門講座、夏休み親子宿題教室、出土遺物保存管理業務、古墳情報発信事業などを実施した。平成29年度の発掘情報館の来館者数は、13,407人を数え、うち日曜開館の来館者は4,226人であった。

受託事業として、夏休み親子宿題教室が7月21日～8月20日の25日間にわたり実施され、例年同様に連日多くの来館者を迎えて盛況に行われた。なお、期間中の来場者は4,061人であった。古墳情報発信事業では11月19日(日)に開催された古代東国文化サミットの古代体験広場として、高崎市の史跡観音山古墳を会場にカラー粘土の勾玉づくりを実施し、好評を得た。

自主事業では、隔年実施の公開普及デーを10月14日(土)に実施し、474人の来場者があった。11月12日(日)には、前橋テルサホールを会場に調査遺跡発表会を実施し、専修大学の土生田純之先生、群馬県立歴史博物館の右島和夫館長、奈良県立橿原考古学研究所の青柳泰介先生、栃木県埋蔵文化財センターの篠原祐一先生を講師に迎え、「金井下新田遺跡の謎にいどむ」と題したシンポジウムを行い、215人の入場者を迎えた。2月24日(土)には同じく前橋テルサホールを会場に公開考古学講座を開催し、國學院大學教授笹生衛先生による「金井遺跡群と古墳時代の祭祀」と題した講演を行い、295人の入場者が熱心に聴講された。また、埋蔵文化財講座として「ぐんま発掘玉手箱シリーズ4」6講座を実施した。体験学習を主とした事業としては、10月より「土偶をつくる・焼く」、12月より「大人のための冬の古代体験教室」、3月下旬より「春の勾玉まつり」をそれぞれ実施した。

#### ア 委託事業(委託者:県教育委員会)

(ア)普及活動等 受託費:18,370千円

①展示普及(展示普及一般・普及啓発嘱託員設置)  
普及啓発活動のための嘱託職員1名を配置した。

②最新情報展・教養講座

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ	備考
最新情報展		発掘情報館 資料展示室	12,851人	資料整理が終了した遺跡の成果を展示公開	
第1期展示	平成29年5月21日(日) ～平成29年9月3日(日)		6,774人	「よみがえった江戸時代の村―天明三年浅間泥流下の発掘調査から―」	
第2期展示	平成29年9月10日(日) ～平成29年12月24日(日)		2,834人	「赤城南麓の生活風景を探る―上武道路埋蔵文化財43年の軌跡―」	
第3期展示	平成30年1月14日(日) ～平成30年5月13日(日)		3,243人	「一万年つづく粉食文化―縄文クッキーからおつきりこみまで―」	

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ	備考
第1期講演会	平成29年7月2日(日) 13:00～15:00	発掘情報館 研修室	53人	「よみがえった江戸時代の村―天明三年浅間泥流下の発掘調査から―」 講師:中沢 悟(事業団職員)	
第2期講演会	平成29年10月1日(日) 13:00～15:00		23人	「赤城南麓の生活風景を探る―上武道路埋蔵文化財43年の軌跡―」 講師:小島敦子(事業団職員)	
第3期講演会	平成30年2月4日(日) 13:00～15:00		12人	「一万年つづく粉食文化―縄文クッキーからおつきりこみまで―」 講師:田村 博(事業団職員)	

③埋蔵文化財専門講座

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ	備考
埋蔵文化財専門講座	平成29年 9月5日(火) ～9月7日(木)	発掘情報館 本館第2資料室	22人	市町村教育委員会の文化財担当者を対象とした考古学、埋蔵文化財の基礎知識や最新の研究成果を習得する講座	
埋蔵文化財担当者コース	9月12日(火) ～9月14日(木)	発掘調査実習 万木沢B遺跡			
教員コース	平成29年 8月1日(火)～8月3日(木)		15人	「授業に活かすぐんまの遺跡」埋蔵文化財の調査成果を学校の歴史学習や地域学習等に活用するための講座	

④夏休み親子宿題教室

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ	備考
夏休み親子宿題教室	平成29年7月21日(日) ～8月20日(日)	発掘情報館	4,061人	夏休み期間中に小・中学生を中心に土器作りや勾玉作りなどを実施	

⑤出土遺物保存管理

事項	概要	備考
遺物管理台帳作成	○作成遺跡 唐堀B遺跡/五箇川入堤外遺跡/小合地西遺跡/有馬西田遺跡/東宮遺跡(4)/西宮遺跡(1)/西宮岩陰/塩川砂井戸遺跡(2)/池石田遺跡/金井東裏遺跡<近世・弥生・縄文時代編>/上ノ平I遺跡(3)/尾坂遺跡(3)/川原湯中原Ⅲ遺跡/石川原遺跡(1)/下湯原遺跡(1)/新屋敷前遺跡/林中原Ⅱ遺跡(2) この台帳をもとに、収蔵庫内の遺物の管理や活用を行っている。	

(イ)古墳情報発信事業 受託費:35千円

①古代東国文化サミット

11月19日に高崎市 史跡観音山古墳を会場として実施された「古代東国文化サミット古代体験広場」では、当事業団で限定300人のカラー粘土勾玉づくりを実施した。

(ウ)施設管理 受託費:19,606千円

群馬県埋蔵文化財調査センター施設の維持管理

イ 自主事業 事業費:7,817千円

①調査遺跡発表会

事項	期間	場所	参加者	講師	備考
調査遺跡発表会 「金井下新田遺跡の謎にいどむ」	平成29年11月12日(日)  10:00～15:30	前橋テルサホール	215人	[趣旨説明] 群馬県立歴史博物館 右島和夫館長 [基調報告] 当事業団 原 雅信 [基調講演] 専修大学 土生田純之先生 奈良県立橿原考古学研究所 青柳泰介先生 栃木県埋蔵文化財センター 篠原祐一先生 シンポジウム 「金井下新田遺跡の謎にいどむ」	

②公開考古学講座

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ	備考
公開考古学講座	平成30年2月24日(土) 13:30～15:00	前橋テルサホール	295人	演題 「金井遺跡群と古墳時代の祭祀」  講師:笹生 衛先生 國學院大學教授	

③埋蔵文化財講座

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ	備考
埋蔵文化財講座		発掘情報館 研修室	合計 548人	「ぐんま発掘玉手箱シリーズ4」 連続6回の講座 対 象:高校生以上 受講料:2,000円/全6回	
第1回	平成29年6月11日(日) 13:00~15:00		108人	「浅間山の噴火と旧石器時代の人々」 講師:小原俊行(事業団職員)	
第2回	平成29年7月9日(日) 13:00~15:00		96人	「石棒・石剣・石刀ー縄文時代の精神文化ー」 講師:谷藤保彦(事業団職員)	
第3回	平成29年9月10日(日) 13:00~15:00		91人	「水田区画の変遷」 講師:齊藤英敏(群馬県教育委員会)	
第4回	平成29年12月10日(日) 13:00~15:00		88人	「火山灰上に残された足跡」 講師:宮下 寛(事業団職員)	
第5回	平成30年1月21日(日) 13:00~15:00		80人	「上野国分寺跡と上野国分尼寺」 講師:橋本 淳(群馬県教育委員会)	
第6回	平成30年3月11日(日) 13:00~15:00		85人	「銅鐸に音階はあったか?」 講師:石守 晃(事業団職員)	

④一般普及事業

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ	備考
公開普及デー	平成29年10月14日(土)	埋蔵文化財調査 センター	474人	県民向けの施設と業務公開を目的に 隔年で実施。見学に加え屋外会場を含 めて古代体験コーナーを開設した。	
土偶をつくる・焼く	平成29年10月2日(月) ~12月3日(日)	発掘情報館	12人	縄文時代の土偶を学びながら製作し、 実際に野焼きで焼成した。	
大人のための冬の 古代体験教室	平成29年12月7日(木) ~平成30年3月8日(木)	発掘情報館	56人	トンボ玉作り、銅鏡レプリカ作り、アンギ ン編みについての体験教室を計16回 実施した。	

⑤発掘調査現地説明会等

遺 跡 名	期 間	場 所	参加者	概 要	備考
高崎競馬場遺跡	平成30年1月16日(火)	高崎市 高崎競馬場遺跡	61人	弥生時代の環濠と井戸及び出土遺物	

ウ 施設利用状況等

項 目	概 要						
資料の 利用状況	区 分	件 数			点 数		
		28年度	29年度	比較	28年度	29年度	比較
	利 用	49件	38件	△11件	4,798点	4,384点	△414点
	貸 出	95件	100件	5件	2,283点	4,729点	2,446点
	体験学習機材貸出	19件	11件	△8件	—	—	—
見学・体験学習	区 分	件 数			人 数		
		28年度	29年度	比較	28年度	29年度	比較
	学校等団体	24件	26件	2件	1,246人	983人	△263人
	その他団体	34件	41件	7件	606人	964人	358人
	その他個人	—	—	—	11,204人	11,460人	256人



項目	概要						
土器作り等の指導派遣	区分	件数			生徒数		
		28年度	29年度	比較	28年度	29年度	比較
	学校等[出前授業]	9件	5件	△4件	716人	340人	△376人
	一般[出前講座]	7件	9件	2件	215人	515人	300人
図書業務	区分	件数			人数		
		28年度	29年度	比較	28年度	29年度	比較
	書籍等貸出	3,247冊	4,057冊	810冊	914人	1,015人	101人
	図書受入	2,977冊	2,672冊	△305冊	-	-	-
保存処理業務	区分	件数					
		28年度	29年度	比較			
		木器関係の保存処理	123点	24点	△99点		
		木器関係のプレパレート作成	-	10点	10点		
		木器関係の実測	-	10点	10点		
		木材樹種同定	198点	27点	△171点		
		金属器の錆落とし	1,211点	824点	△387点		
		X線写真撮影	256点	1336点	1080点		
		土層剥取	3件	0点	△3件		
		遺物の取り上げ	7件	11点	4件		
		金属・木・竹製品修復	6点	9点	3点		
		特殊脆弱遺物精査・クリーニング・強化処理	4点	15点	11点		
		市町村技術援助	5件	9点	4件		
発掘情報館業務	区分	件数					
		28年度	29年度	比較			
		入館者(年間)	13,056人	13,407人	351人		
	夏休み親子宿題教室(夏休み期間)(再掲)	3,903人	4,061人	158人			
職場体験学習等	実施なし						
情報誌の刊行	「埋文群馬」No.63の刊行						
年報の刊行	「年報36」の刊行						
研究紀要の刊行	「研究紀要36」の刊行						

## エ 「古墳探訪」作成協力

平成29年度に群馬県が発刊した「古墳探訪」の原稿作成に全面的な協力を行った。